**2014年12月13日（土）NewPJシリーズ学習会第3回**

**ミニフォーラム「GM作物に対する多様な考え方を知る」の記録**

**話し手　芝池　博幸 先生　（独）農業環境技術研究所主任研究員**

■感想／分かったこと／難しかったこと／疑問に思ったこと／もやもや。何でも書いてください。

A)

・芝池先生に直接依頼して情報ソースをもらうことにしました

・難しかったですが、とても参考になりました

・農業や経済のことも一緒に考えないといけない領域なので、遺伝子組み換えにOKだとしても簡単に答えが出せないと思った。

・遺伝子組み換えを考える時は、植物の生態もかかわってくるとわかった。

・この農業の話と、2、3の話がつながらなかった。この話の流れだと日本or北海道の農業についての議論をしたくなってしまう様な・・・。

・だんだん難しい内容で、質問も出来ず。

B)

・先生からの質問で何を線引きしてますか？

・道産の品を優先しています。でもこの先、まだまだ線引きは変わると思います。なぜなら、以前はおいしくて安いで選んでいましたので。

・GMも時代と共に変化して行くなかで、現時点ではどこ迄自分が受け入れられるか、これからの課題です

C)

・「わが国の農業の現状」これをテーマとした機会を企画して欲しい

・GMへ人体に悪く与える問題を知りたい（現時点ではっきりしてる事柄を）

・本日PJは私にとって日常に関する事項があったので、それが解決したので楽しく感謝しています。

・GM作物が影響はないことも解ったので、感謝してます。

・遺伝子くみかえ作物～　人体への影響があって食べるものではない！と思っていましたが、知らず知らずのうちに口にしていたのと、日本で作っている農家さんがないことなど、知識が入ることによって、少し安心な面も出てきました。ありがとうございました。

・GMじゃなくてもできる改良でどこまでできるのかわからないけれど、色々な作物でがんばってほしい。がんばりたい。

D)

・研究者としての遺伝子組替に対するメリット、デメリットを消費者に更に発信してほしい

・もうすこしフランクな形での進め方であってほしかった

・遺伝子組み換えについて、ただ心配、人体に悪影響があると思い込んでいましたが、知らず知らずのうちに口にしていると思うと、まだ少し心配です。でも今日のお話を聞いて、そんなに深く心配する事もないのかな？と思いました。

・日本の、とくに北海道の農業が今後どうなっていくのか心配です。地産地消をめざしているのに、減少して行くのではと思います。

・先生ご自身（研究者）として、GM作物に対するメリット、デメリットは何だと思いますか。

・大変有意義なお時間でした。

・GM食品に対しての不安感が少し無くなり、時代の流れで受け入れても仕方がないのかなと思いました。

・テーマが遺伝子組み換え作物という大きなテーマであったことから、グループワークの時間がもう少しあってもよかったのでは。各自の考えていること疑問点をだしきれなかった。

・先生のフォーラムの内容とみなさんと意見を出し合った内容がややずれていたように感じた

■アンケート調査から

１． シリーズ学習会に参加して

２．内容はどうでしたか

４．今後の学習会に参加したいと思いますか

３．運営の仕方は如何でしたか。感想やご意見をお願いいたします。

1. 日程・時間帯・開催場所

・A)

・よい

・土曜日は避けたい

・場所は今回の学習でも次回でも又参加していきたいと思います

・よい

・平日と土曜日の駐車場と玄関の開閉場所が変わっていた。

B)

・良

C)

・OKOK

・重ねる毎にリラックスして充分楽しんだ

・よかったと思います

D)

・良い

・適当

・丁度良かった

・なるべくなら平日が良い

1. プログラム構成～「話を聴く、グループで話す、先生に聞く」という構成にした点

A)

・よい

・良い

・手順が良くて良かったと思います

・よい。先生からの質問があったのが、初めての体験でおもしろかった。

・グループで話す内容をもっとしぼった方が良かったと思う。

B)

・良

・グループ内で質問を出す時、全体で質問の時間があったことでまとまりやすかった

C)

・講師の幅、数を拡大すべき（反対意見の講師も入れないと客観性が保てない！あるいは評価の専門家などを加える）

・OKOK

・流れはこれで良いと思います

・グループで話すのも良かった

・良かったと思います

・実行している間に納得できた

D)

・良い

・先生からの質問部分はおもしろかった

・丁度良かった

・話し合う時間と先生に聞く時間が欲しい

・とても良かった。聴くばかりでなく全体で考え意見を云うことは最善の構成だった

　　　（３）その他

A)

・大きい会場でよかった

・なし（モヤモヤはあります）結果はっきりせず

B)

・消費者が聞きたい内容と講師の方の論点がずれているように思います。

D)

・グループ後、席の移動は不必要

【A】グループで出された意見や疑問（ポストイットに書かれた意見や疑問）

●大豆が交雑が低いことがよくわかった

●安全評価の手順はよくわからない

●河田一環境への影響を調べているけれどナタネの自生、バラ科のものに交雑は？環境に対する影響が心配

●よくわからないものは拒絶感、不安感を持っている。よくわかっている人は何が危険かどこからは安全かがわかるので距離感を上手にとれる。相手のことを理解することからが大切

●世界の栽培事件や先生の研究で失敗例は？→殺虫性に対する抵抗性昆虫が出ているが、従来の作物でも殺虫剤～単一耕作することは、どちらもリスクは大きい

●GMナタネは国も調査（農研、環境研）四日市、かしま。飼料としても調べている。結実しているものはない。交雑～アブラナはGMと共存しているが（150年前帰化したもの）交雑したというデータはない。

●安全評価の手順と内容がわからない

【B】グループで出された意見や疑問（ポストイットに書かれた意見や疑問）

●研究者はなぜGMを消費者が嫌うと考えますか？

●映画館で売られているポップコーンは遺伝子組み換えなのか？

●世界の中でGMを嫌うのは日本人？+種の独占？モンサント社

【C】グループで出された意見や疑問（ポストイットに書かれた意見や疑問）

●GM作物が広がり、牛などのエサとなった場合、肉やミルクの形で人間に影響がでるのではないか。子孫への影響が必要

●事例が出た場合の対策

●放射性物質を吸収するGM作物はできますか？

●遺伝子組換え食品にはどんなものがありますか。どこで作られているのですか。

●環境への影響、経済への影響

●今までの研究、世界の栽培事例で、生物多様性への影響で悪の結果とした事例を知りたい。そういった時に事後対策は出来ていますか。殺虫剤提供製昆虫が出たButこれはGM固有のものではない。対策。GMに関らず。同じ対応。

●交雑交配で遺伝子交配の技術等の○○によるGM作物は孫子代に影響対策は

●遺伝子組み換え作物の100％人体に影響がないことが証明されてから、世界的に作っていくということでは遅いのでしょうか。順序が逆な気がします。

●事例を知りたい

●遺伝子組換え飼料を食べさせた豚の組織を内臓の部分に移殖した時～組換部分から人に吸収されていると考えられるか

●事前学習が大事（学習は30分くらいでOKかも）。残りはコミュニケーション、質問をお願いする（質問20～30分くらい）

●議論はもう少ししぼって。ランチミーティングをもっと活用したほうがいい（その間にグループで意見交換）

●作る人の気持ち・立場の理解、研究する人の気持・立場を理解して伝えたい

●消費者としてもっと知られていない大切な情報を自分が伝えなければ、という気持ちが出てきた

●事前資料を読み込んできてもらい、講師の話がわかるようになったら、質問やディスカッションし、当日のまとめをしたらどうか。

●ものを知らないはずかしさ、くやしさが出発点。キーマン（羽賀さん、吉田さん、三浦先生、農研センターの方）

●自分自身で考える←主催する←コミュニケーション（信頼が大事）

●インプットだけじゃなくアウトプットすることが大事

【D】グループで出された意見や疑問（ポストイットに書かれた意見や疑問）

●道条例の隔離距離を国の基準にもどしたとき、農業に新しい展望がある？

●個々の考え方、受け止め方によるので、良い悪いとか認める認めないではなく、選択できるようになれば良い。そのための正しい知識を得られるように情報を提供してほしい。

●日本の農業を活性化するためには、農作物工場を企業がもっと進めればよいと思う。雇用拡大、生産性、安定性、自給率向上につながるのではないか。

●日本人にGMを受け入れられるようにするために厳しい条件を設けて安全というようにしているのか？

●遺伝子組み換えの食べもので、結晶化したものは遺伝子には影響はないが、直接口に入って来る食べものは心配である。ポップコーンなど・・・。火を通せば安心なのか？加工食品などは影響ないのか。

●遺伝子組替の害はまだ研究中としても、私達が常に気を付けるべきことは？ある程度許要すべきでは？

●入輸食物で、種なども直接入って来ているのか？（もやしや大豆など）

●研究者として、遺伝子組み換えのメリット、デメリットを消費者に解りやすく伝えるで欲しい。